

# 仙台市ボランティアセンター広報誌

# ぼらせん

BORASEN

vol.21

2024  
Spring

## 特集 地域に笑顔をお届ける 宮城大学の社会貢献



パンキャンジャパン宮城支部 ネットキャンサーデーの周知活動

### 地域に寄り添い、人とのつながりを大切に

人と人、心と心をつなぐボランティア活動。その活動の輪は、宮城大学でも大きく育まれています。

令和元年東日本台風の被災地である丸森町でのボランティア活動をはじめ、仙台市泉区高森東地区で地域の方々の憩いの場として開催されている「結いカフェ」のお手伝いや防災訓練、さらには膵臓がん患者の支援団体・NPO法人パンキャンジャパン宮城支部への協力など、宮城大学の学生たちの地域に寄り添った取り組みをご紹介します。



パンキャンジャパンの自動販売機の前で

### Contents

#### 特集

- 地域に笑顔をお届ける  
宮城大学の社会貢献 ..... 1-3
- 企業の社会貢献 ..... 4-5  
・ CSRセミナー(開催報告)  
・ フードドライブ支援事業
- 子どもの居場所づくり支援 ..... 6  
・ 通町はなばたけ食堂
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7
- イベントインフォメーション ..... 8



# 特集

宮城大学の  
社会貢献

地域に笑顔をお届ける

宮城大学

## ボランティアでつなぐ 地域との絆



高森東地区の防災訓練参加後の記念撮影



丸森町でのボランティアに参加の学生



丸森町学習支援活動の様子



高森東地区防災訓練での講習会の様子



希少がんのシンボル「しまうま」パネルの補修活動



膵臓がん早期発見宮城セミナーの支援活動

### 一 学生時代のかけがえのない体験

2019年10月の東日本台風によって甚大な被害を受けた宮城県丸森町。宮城大学では、町の地域支え合いセンターからの提案を受け、丸森町内の小中学生約70名を対象にした学びや遊びの支援を地域の方々と一緒にを行っています。現在は看護学群の学生有志ら25名ほどが交替で丸森町へ。東日本大震災で得られた学びを踏まえつつ、子どもたちと一緒に遊んだり、話し相手になったりしながら、子どもたちの心に寄り添った活動を続けています。

宮城大学に隣接する仙台市泉区の高森東地区では、「みやぎ絆むすび隊」や「ちいき×こねくと」という学生団体を中心に、地域の防災訓練に協力しています。地区の皆さんや学生、仙台市地域防災リーダー(SBL)などと一緒に、応急手当や搬送方法の講習会を開いたり、地域の防災や減災にひと役かっています。

また、高森東地区では、地域のお年寄りの皆さんを対象とした「結いカフェ」のお手伝いもしています。協力しているのは看護学群の学生たち。和気あいあいとした雰囲気の中で、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごしています。

宮城大学の看護学群では、NPO法人パンキャンジャパン宮城支部と連携しながら、膵臓がん患者支援のお手伝いも行っています。年1回のイベントの他、学内にはパンキャンジャパンの募金付き自動販売機も設置。2025年には、膵臓がんの撲滅をめざしたウォークイベントも準備中です。

学生たちのボランティア活動をバックアップしている看護学群の准教授の霜山真さんは、「ボランティアからは教科書に載っていない多くのことが学べます。社会で大切なのは人とのつながり。それをボランティアを通して多くの学生に学んでもらいたいです」と笑顔をのぞかせていました。

# 大学生の声

## 丸森町内の小中学生への学習支援活動

**Voice 01** 看護学群 3年生 加藤 真凜さん

このボランティアへの参加のきっかけは、大学での災害看護プログラムを受講して被災地での看護に興味を持ったことでした。実際に活動を通して何か特別な看護をするという事ではなく、場を共有し共に楽しい時間を過ごすことも被災地支援、看護になることを知りました。このボランティアでは、私が何かするというよりも、子どもたちから元気をもたらしていることの方が多く、今後は子どもの将来がより良いものとなるように学習支援を行うとともに心理的な支援を意識して子どもたちと意図的な関わりを持っていきたいです。

**Voice 02** 看護学群 4年生 白戸 結さん

大学生のうちボランティア活動をしてみたいと思っていたところ、大学から紹介がありました。小中学生の子どもたち、スタッフ、地域の方々、皆さん優しくにぎやかなので楽しく参加することができました。活動に参加してみて、地域の様々な方が参加していることが印象的でした。そうすることで、子どもたちとその家族を見守る環境を地域全体でつくり、みんなが安心して地域で過ごせることにつながっているのではないかと思います。卒業後、私は看護師として働きますが、患者さんに安心できる看護を提供していけるよう頑張ります。

**Voice 03** 看護学群 4年生 今野 圭人さん

大学で災害看護を学んで、いつかボランティアをやってみようと思っていたところに、先生から紹介があり、私も参加することにしました。学習支援ボランティアでは問題の解き方や考え方のヒントを教えるようにしています。子どもたちが解けるとこちらも嬉しく感じます。また勉強だけでなく身体を動かして遊んだり、何気ない会話に混ざったりする時間も子どもたちから元気もらえます。子どもたちにとって、些細なことでも困ったことがあった時に頼ることのできる存在になれるよう、これからも活動を続けていきたいです。

**Voice 04** 看護学群 4年生 疋田 望結さん

幼い頃から子どもと関わるのが好きだったため、この活動への参加を決めました。ボランティアということもあり、「何か役に立てたらいいな」と意気込んでいましたが、明るいスタッフの方々や子ども達に囲まれ、逆に元気をもらうことも多くありました。何か大きなことをするだけがボランティアなのではなく、同じ時間を共有していく中で、「自分を気にかけてくれる人がこんなにいるんだ」と感じてもらえるようにすることも大切な役割の一つなのだと思ふことができ、思い出に残る活動でした。

## 高森東地区防災訓練支援活動

**Voice 01** みやぎ絆むすび隊 看護学群 2年生 柳 帆乃さん

私は学生団体「みやぎ絆むすび隊」に所属し、災害看護や防災に関する学びについてボランティア活動や学習会を通じて深めています。今回は防災訓練に力を注いでいる高森地区の防災訓練に参加させていただきました。準備から当日まで、訓練に関わる住民の皆さんが訓練をより良くするために活動する姿を見て、地域の防災をこまめに本気で考えられるのはとても素晴らしいことだと感じました。今回、私は災害時の応急手当について講習を担当しました。上手くいかなかったと感じる点もありますが、今年度の反省を生かして、来年度はより地域の役に立てるような講習会になるよう努力します。

**Voice 02** みやぎ絆むすび隊 事業構想学群 3年生 高橋 和寛さん

日頃から防災や減災について学びを深めていたこと、「みやぎ絆むすび隊」に所属していたことで霜山先生に誘っていただき参加に至りました。防災訓練を実施するために、様々な役割を地域住民の皆さんや仙台防災リーダー、女性防火クラブなど多くの人が協力し、たくさん話し合い、相互理解を深めて準備していました。訓練当日は、何か想定外のことが起こっても臨機応変に対応する等、改めて大事なことをたくさん学びました。これからも普段から顔の見える関係を大切に、誰かの役に立てる人となって様々なことに積極的に活動していきたいと思ふました。参加して良かったです。

**Voice 03** ちいき×こねくと 看護学群 1年生 秋山 琳さん

高森東地区の防災訓練は地域住民の連携が強く、活発であるということを知り、自分の住む地域の防災活動でも取り入れられることがあればと思い参加しました。参加された住民の皆さんが役割を分担し、協力して救護や避難所の設営をしている姿が印象的でした。地域の中学生も積極的に参加していて、若い世代を含めた幅広い年代の参加が必要であると感じました。今回は訓練活動の支援という形の参加でしたが、今後は自らが運営する立場となり、幅広い年代に向けて防災訓練に参加することの意義や防災・減災への取り組みについて伝えていきたいです。

**Voice 04** ちいき×こねくと 看護学群 3年生 平田 夕依さん

私は学生団体「ちいき×こねくと」に所属して、日頃から地域と障がい者の防災、災害医療の観点から看護が果たせる役割について考えています。そんな中、先生方から防災訓練のお話をいただき、学生として地域の役に立つことはできないかと考えました。実際に参加してみて、上手くいかないこともありましたが、実際の災害を想定し、緊張感を持って臨機応変に周りの学生と協力しながら訓練を行えたと思ふます。また、地域の方から直接質問や感想をいただき、改善点や知識を深めるべき点が見えてきて勉強になりました。今後学生間で防災に関する知識を深めつつ、今回のような活動を通じて、地域の方々との交流も継続していきたいです。

## パンキャンジャパン ボランティア活動

**Voice 01** 看護学群 2年生 鈴木 結生さん

活動をしたと思ったきっかけは、外部講師の先生からの紹介でした。現在は膵臓がんの研究支援のための募金付き自動販売機の清掃やフィンランドから大学に送られてきた希少がんのシンボル「しまうま」パネルの補修を行っています。授業とは違い、自主性が求められ、思っていたような成果になっておらず、今までにない難しさを感じています。今後はSNSを活用し、少しでも多くの人に膵臓がんについて知ってもらえるような投稿を積極的に行いたいと考えています。

**Voice 02** 看護学群 2年生 齋藤 奈保子さん

参加のきっかけは、パンキャンジャパンのボランティア活動を知ったことです。活動を通して膵臓がんについての認知度を高め、早期発見・治療に少しでも役立つことができれば嬉しいと思ふ、希望しました。現在は、学内に展示している希少がんのシンボルの「しまうま」パネルの補修活動、患者さんの支援につながる募金付き自動販売機周辺の清掃活動、膵臓がんに関する学習などを行っています。まだ、始めたばかりでほとんど活動できていませんが、今後はSNSでの情報発信を行い、膵臓がんやパンキャンジャパン、私たちの取り組みについて多くの方に知ってもらえることを目標としています。



社会課題解決のためにできることを



▲講師の(一)会議ファシリテーター普及協会 代表理事 釘山健一氏



▲セミナーの様子

令和5年11月、「学生と企業人が一緒に学ぶアフターコロナの企業戦略ー社会の課題を解決する“社会企業(SDGs)”の極意」をテーマに開催された2023企業の社会貢献・CSRセミナー。SDGsの意義や考え方、社会課題を解決する企業戦略を学ぶ場として、また、企業人や学生が社会の課題について一緒に考え実践活動につなげていくきっかけとして開催され、12社(団体)25名が参加しました。

今回のセミナーは11月10日と24日の全2回コース。講師は(一)会議ファシリテーター普及協会 代表理事 釘山健一氏です。第1回目のセミナーは「気軽に!楽しく!中身濃く!」を合言葉にスタート。「社会企業とは?」をテーマに講話やグループワークを行いました。ワイワイ楽しく会議は進み、参加者からは「楽しく、否定されない環境だからこそ意見を出しやすかった」や「実際に現場で役に立つ考え方や知識、貴重なノウハウを学べた」「自社の強みを再認識できた」などの声が聞かれました。

第1回目終了後、参加者には、社会課題の現場に飛び込み、ボランティアとして現場を助ける「ソーシャルダイブ」が宿題としてされました。現場の生の声を収集すべく、参加者は各々、介護施設や子ども食堂、NPO団体等にボランティア活動者として参加します。

そして、第2回目のセミナーで「ソーシャルダイブ」で得た現場の情報を模造紙にまとめ、参加者全員で共有し合いま

した。情報共有を終えると「他の参加者のソーシャルダイブで感じたことや考えたことなど、生の声を聞くことで、よりリアルな現場を知ることができた」や「ソーシャルダイブの大切さを知ることができたり、他社や他団体の活動について話を聞くことができたりと有意義な時間だった」と参加者からは笑顔が見られました。

社会課題解決に向けた活動のきっかけとして開催された「企業の社会貢献・CSRセミナー」。今回のセミナーで得た社会課題解決のヒントが企業や地域、大学等で活かされ、社会貢献活動の輪がますます広がっていくことでしょう。

ソーシャルダイブ報告書

令和5年度ボランティアフォーラムで地域の皆さんにも紹介しました!

「もったいない」が誰かを助ける



▲フードドライブ貸出用「のぼり」と「回収用ボックス」

まだ食べることができるにもかかわらず捨ててしまう「食品ロス」を削減するため、市民や企業等が未利用食品を持ち寄り、フードバンク団体などへ寄付をする「フードドライブ」。誰でも気軽にできる社会貢献活動として活動の輪が広がっています。

仙台市 **フードドライブ**

賞味期限が1カ月以上先の常温保存ができる食品(生鮮食品以外)を回収

**貸出対象** 仙台市内に事業所がある企業・法人

**貸出物品** 回収用ボックス、のぼり(1日~1か月貸出可)

**申込** 仙台市フードドライブ支援事業ホームページ 右記QRコードよりアクセス▶

仙台市社協では、「フードドライブ支援事業」として食品回収用ボックスや、のぼりの貸出を行い、フードドライブを実施する法人をサポートしています。ぜひ職場でフードドライブを行ってみませんか?

お申込みは仙台市社協ホームページから!

令和5年度 実施企業・法人一覧 (令和6年2月27日現在、順不同)

※実施内容に関しましては仙台市社協ホームページをご覧ください。

- 株式会社神戸製鋼所 東北支店
- 株式会社 建設技術研究所東北支社
- 株式会社建設技術研究所 東北支社
- 東北放送株式会社
- 日本生命保険相互会社 東北総合法人部
- 学校法人ホライゾン学園 仙台校
- 日新火災海上保険株式会社
- 日本生命保険相互会社 仙台支社
- 仙台育英学園高等学校
- 清水建設株式会社 東北支店
- 法務省 矯正管区
- 仙台白百合女子大学
- 住友商事東北株式会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- 仙台学院高等学校
- 宮城交通株式会社
- 株式会社泉パークタウンサービス
- 株式会社学研スタディエ
- 日比谷総合設備株式会社東北支店・日比谷通商株式会社東北支店
- 株式会社三菱地所・サイモン株式会社 仙台泉プレミアム・アウトレット
- 住友生命相互保険会社
- ヤマト運輸株式会社 新宮城主管支店
- 旭ヶ丘地区社会福祉協議会





# 子どもの居場所づくり

～ 感謝の気持ちを忘れずに続けていきたい～

## 通町はなばたけ食堂（仙台市青葉区）



### 地域の皆様の熱い支援を胸に

もともと料理が好きで自分でもチャレンジしてみたいという思いから、令和4年12月に活動を始めたという通町はなばたけ食堂。「子ども版居酒屋のようなイメージで、地域に潤いや楽しみを与えられたらいいだろうなと思っています。今では地域の皆様が食材を提供してくださったり、学生がボランティアで手伝いに来てくれたり、本当に多くの方に支えられながら活動を続けています」と語るのは、代表の花井一幸さんです。

コロナ禍により施設内で飲食ができないことから、現在はお弁当類のお持ち帰りを基本にしていますが、用意ができるまでの間、子どもたちは地域の方からクラフトづくりを教わって大喜び。世代を超えた交流の広がりや、通町はなばたけ食堂の大きな魅力のひとつです。子どもたちはもちろん、お父さんやお母さんたちのことも応援したいと考え、お家でほっとできるプレゼントも用意しています。

「子ども食堂を始めるのは簡単ですが、それ以上に大切なのは続けることだと思っています。地域の皆様への感謝の気持ちを胸にしまって、これからも長く続けていきたいですね」と花井さん。通町はなばたけ食堂は、地域のやさしさや温もりの拠点として、これからも笑顔の輪を咲かせていきます。



スタッフのチームワークは抜群！



クラフトコーナーも大人気！



愛情いっぱいのおかず！



この日は寄付金の贈呈も

### INFORMATION 「通町はなばたけ食堂」 に関するお問合せは

E-mail happy1\_inc@yahoo.co.jp



## 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

### 仙台市障害理解サポーター養成研修

障害のある当事者の方が講師となり、仙台市内の企業、団体へ出向いて障害理解を目的とした研修を行います。障害のある方の実体験を踏まえたお話を聞くことで、障害に対する理解を深めることができる研修です。

「障害について当事者から話を聞いてみたい」や「障害のある方と関わる機会があり必要な配慮を知りたい」等、障害に対する理解を深めたいと思っている企業・団体の方はぜひお申込みください。

#### 研修の特徴

- ① 身体障害、精神障害、発達障害などの障害のある方が講師を務めます
- ② 日時・場所・対象者はご希望に合わせて実施します
- ③ 受講料・講師派遣料・テキスト代等の費用は一切不要です

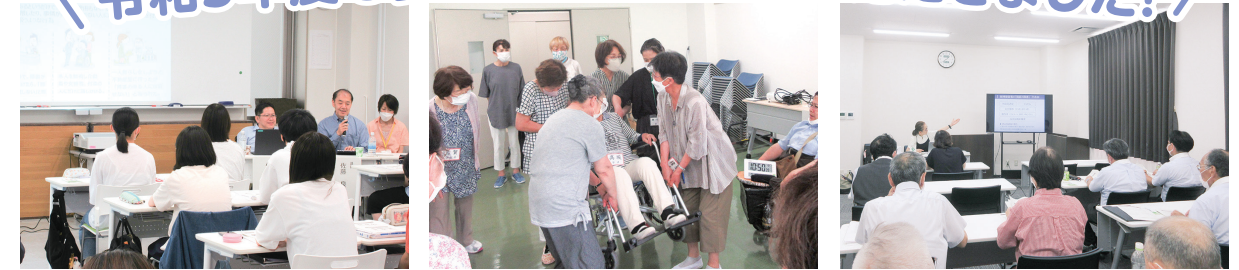
#### お申込はこちらから

仙台市  
障害理解サポーター  
養成研修  
ホームページ



<http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/supporter>

### 令和5年度も多くの方々に受講いただきました！



### 令和5年度に受講いただいた企業・団体一覧 (令和6年2月27日現在・順不同)

#### 企業

- 一般社団法人 いろのは
- 株式会社サンテック スマイルステッド太白
- 株式会社七十七銀行
- 株式会社セノン地下鉄事業部
- 株式会社なでこ
- 国見地域包括支援センター
- クラシタス株式会社
- 合同会社ふくまる
- 仙台市沖野老人福祉センター
- フレッシュネス南中山
- 宮城交通株式会社 仙台市泉営業所
- 宮城交通株式会社 仙台市泉営業所野村車庫
- 宮城交通株式会社 仙台市霞の目受託営業所
- 宮城交通株式会社 仙台市仙台営業所
- 宮城交通株式会社 仙台市仙台南営業所

- 宮城交通株式会社 仙台市東仙台受託営業所
- みやぎ生協こ〜ぶくらしの助け合いの会

#### 学校

- 尚絅学院高等学校総合進学コース
- 仙台青葉学院短期大学
- 仙台医療福祉専門学校
- 仙台白百合女子大学 人間学部人間発達学科
- 東北外語観光専門学校

#### 地域・団体等

- 上杉地区民生委員児童委員協議会
- 仙台市シルバーセンターせんだい豊齢学園
- 西多賀地区社会福祉協議会
- ハートフル松陵地区社協部会
- 山崎町内会 山崎いきいきクラブ
- 若林地区民生委員児童委員協議会

※実施内容に関しましては仙台市社協ホームページをご覧ください



# イベントインフォメーション

## 宮城県ボランティア活動総合補償制度

もしもの事故に備えてボランティア活動者が加入できる保険です。

令和5年度に加入したボランティア保険は  
**令和6年3月31日に補償期間が終了**します。

令和6年度分のボランティア保険は  
**令和6年3月15日に受付を開始**します

### 加入手続きに必要なもの

#### ● ボランティア保険加入申込票

(市・区ボランティアセンター、  
宮城支部事務所窓口にて配布)

※加入者全員の氏名・住所・電話番号の情報が必要です。

※既存の名簿に上記内容がすべて記載されている場合は、その名簿を2部ご提出ください。

#### ● 保険料

Aプラン … 300円

Bプラン … 500円

天災プラン … 670円等

※お釣りの無いようにご準備ください。

● 詳しくは  
仙台市社協  
ホームページを  
ご覧ください

右記QRコードより  
HPアクセス▶



## 2024夏のボランティア体験会

夏休み期間に市内の福祉施設、ボランティア・市民活動団体等でボランティア体験ができます。この機会にボランティアデビューしてみませんか？参加募集は5月頃に開始します。



### ちらし設置場所

- 1 仙台市ボランティアセンター・各区ボランティアセンター・青葉区宮城支部事務所
- 2 仙台市内市民センター・中学校・高等学校・大学・専門学校等

## 仙台市ボランティアセンター休所日変更のお知らせ

令和6年度より、福祉プラザ休館日、12月28日、1月4日も開所します。なお、福祉プラザ休所日のロッカー利用は9時～17時までとなりますのでご注意ください。

▼仙台市福祉プラザ休所日が変更となります▼

令和5年度まで

休所日 ● 12月28日  
● 1月 4日

令和6年度より

休所日 ● 12月29日  
● 1月 3日

※他、日曜・祝日も休所

### 青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階 TEL022-265-5260

### 青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1(仙台市宮城社会福祉センター内) TEL022-392-7868

### 宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階 TEL 022-256-3650

### 若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階 TEL 022-282-7971

### 太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階 TEL 022-248-8188

### 泉区ボランティアセンター

仙台市泉区七北田字道48-12(泉社会福祉センター内) TEL 022-372-2603

※令和6年3月29日まで大規模改修工事に伴い仮事務所(泉区泉中央2丁目24-1)に移転しています

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人  
仙台市社会福祉協議会

## 仙台市ボランティアセンター

〒980-0022

仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ4階  
TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

